

①氏名	柴田 篤 様
②会社名	ブリヂストン化工品ジャパン株式会社
③所属・役職	コンプライアンス管理部
④受講講座	コンプライアンス総合コース
⑤きっかけ	ここ数年、社内のコンプライアンス関連部署で実務に携わっておりますが、断片的な知識で日々の業務をこなしている状況でした。なんとかもう少し、体系だった知識を習得したいとの動機で、受講を申込みました。
⑥良かった点	体系的に学んだことにより、全体を俯瞰するレベルが向上したように感じます。また添削問題は、テキストの表面をなぞっただけでは解答できず、内容をよく読みこんで理解したうえで記入することが要求されていましたので厳しい反面、内容が身についたと言えます。何より添削してくださる先生方の懇切丁寧な解説が腑に落ち、さらに学ぶ動機付けを得ることができました。職場の後輩に対して教える内容が濃くなりました。

①氏名	赤畑 寿晴 様
②会社名	株式会社損保ジャパン・システムソリューション
③所属・役職	—
④受講講座	コンプライアンス総合コース
⑤きっかけ	—
⑥良かった点	<p>学習方法は、「独学（テキスト）」か「独学＋通信添削」の2通りが考えられます。「独学」はテキスト、関連文献を読みノートに纏めて暗記し、「問題集」で理解力を試す。「通信添削」との違いは、理解力を「独自試験」で試すことだと思います。</p> <p>ここで、同じ理解力を試す場合、判らないことは納得ゆくまで質問できることが「通信添削」の強みだと思います。特に記述式の問題対策では、明瞭簡潔な文章構成力が求められます。</p> <p>業務でも、「文書構成力」は必要不可欠な技術であり役立っています。急がば回れ。「通信添削は合格への近道」「業務や業務以外にも役立つ」といった大きなメリットがあります。</p> <p>記述式問題の試験対策だけでも通信添削はお勧めです。</p>

①氏名	福井 豊一 様
②会社名	株式会社 NTT 東日本 - 北海道
③所属・役職	監査役
④受講講座	コンプライアンス総合コース
⑤きっかけ	<p>監査役は初めての経験であるため、先輩の監査役の勧めもあり、日本監査役協会のHPで監査役規程や役割などの勉強を進めていました。</p> <p>日本監査役協会の参考図書として、「監査役実務入門（ゼロから始める監査役監査）」を購読したところ、本通信講座では体系的に学習できることを勧めていたため、受講することにしました。</p>
⑥良かった点	<p>テキスト内容は、コンプライアンスの基礎をスタートとして、企業経営、企業倫理、コーポレート・ガバナンス、内部統制、企業法務と全般を網羅しており、添削問題も的を射た出題となっており、テキストの理解が深まりました。</p> <p>特に、記述式問題は、改めてテキストを熟読しなければならないこともあり、より一層理解を深めることが出来ました。</p> <p>内部統制システムの監査のチェックポイントや監査役監査の四半期報告作成に当たっては、本通信講座の内容を大いに参考にして、趣旨を理解した上でまとめることができました。</p> <p>併せて、関連の参考図書の内容も理解しやすくなりました。</p> <p>本通信講座を9月～12月の4ヶ月という期間で修了することができましたが、集中して学習できましたし、これからも常に手元に置いて読み返しながらか実務に活用できると考えています。</p> <p>初めて監査役になられた方にとって、短期間で体系的にコンプライアンス及び監査役実務を修得できる入門編として、お勧めできる講座であると思います。</p>

①氏名	富永 明彦 様
②会社名	王子ホールディングス株式会社
③所属・役職	内部監査部
④受講講座	コンプライアンス総合コース
⑤きっかけ	コンプライアンスの業務を担当して2年になろうとしていた時期に、それまでもコンプライアンスについて書かれた書籍にはある程度目を通し、また各種セミナー・社外の研究会にも参加したりして自分なりにはある程度理解していたつもりですが、どうも釈然としない部分があり、断片的な知識を一度整理する必要があるとつくづく感じていました。また社内のコンプライアンス研修・教育・説明会などで講師を依頼されることも多くなり、コンプライアンスの概念をわかりやすく説明し本質を伝えるためには、一度通信教育で知識を整理するのが最適ではないかと考えたからです。
⑥良かった点	厚みのあるテキスト（「基本テキスト」）が3冊届いたときには、コンプライアンスに関する内容がこんなにも多いのかとびっくりしたのを覚えています。設問に解答するにはその都度テキストを参考にするので、どのページにどんな内容が記載してあるかがわかるぐらいにまでなりました。（目次が索引となるので大変使いやすいです。）また、全設問（大問）6問中、記述式の設問が毎回2問（問題5及び6）あり、与えられた字数内に収めるために一旦パソコンに入力して調整するなど時間はかかりますが、再度自らの手で解答用紙にまとめるという作業はテキストの内容を理解する上ではとても有効でした。

①氏名	匿名
②会社名	こくみん共済coop（全労済）
③所属・役職	—
④受講講座	コンプライアンス基礎コース
⑤きっかけ	通信教育受講の斡旋があったため。
⑥良かった点	正しい知識を短期間かつ的確に習得できたこと。 システムリスクや情報セキュリティ管理業務に、直接的、間接的に役立っている。

①氏名	関崎 眞 様
②会社名	キャノンソフトウェア株式会社
③所属・役職	—
④受講講座	コンプライアンス総合コース
⑤きっかけ	<p>何かの資格を取得したい時、その資格専門の通信教育は大変に有効な勉強手段となります。つまり、資格が必要とする専門分野に集中して学べるばかりか、自らの時間を活用し、それ次第では非常に短期間で習得できるという大きなメリットがあるからです。・・・とは、誰もが知るところでしょう。私の場合、少し違う理由で通信教育を始めました。</p> <p>私が現在の職務に就いた頃は、商法の改正論議が活発に行われ、会社法へと変遷する時期でした。法律用語やガバナンス論議など、技術系出身の私には畑違いの分野で、専門誌やセミナーなどから情報を得るのが精々でした。しかし、こうしたものは特定の主題や事例に関するものが多く、知識としては継ぎ接ぎなもので、体系的に整理したいと考えていました。</p> <p>そうした時に「コンプライアンス・オフィサー認定資格」のための通信教育があることを知り、分野が特定されとはいえ、知識を整理するには好都合とばかりに、直ちに受講を決めました。受講を開始した時点では、認定資格を得る事までは考えていませんでした。</p>
⑥良かった点	<p>こうして始めた通信教育でしたが、自分に不足するものを客観的に知り、新しい情報を得る良い機会になりました。また、添削問題の解答への丁寧な指導を受け、理解したことは何度でも文章で表現し、慣れることが大切であることを痛感させられました。こうしたことの積み重ねが、知識を整理することに大変に役立ったのではないかと思います。お蔭様で、通信教育修了後に受けた「コンプライアンス・オフィサー」の認定試験にもパスできました。</p>

①氏名	石川 哉 様
②会社名	都築電気株式会社
③所属・役職	コンプライアンスリスク管理部 法務コンプライアンス課
④受講講座	コンプライアンス総合コース
⑤きっかけ	社内の組織変更で、従来の「法務部法務課」が「コンプライアンスリスク管理部 法務コンプライアンス課」となったため、上長の勧めで「コンプライアンス総合コース」を受講させて頂きました。受講前の説明会で、7ヶ月間で7回分の課題を提出し、各々70%以上の成績であれば「認定コンプライアンス・ドバイザー」資格が認定される通信講座ということで、テキストを確認しながらであれば頭が固くなった自分でもなんとかなるだろうと思い、軽い気持ちで受講することにしました。
⑥良かった点	法務担当者として、ビジネス法務についてはひととおり勉強しましたが、コンプライアンスという切り口で勉強する機会がなく、今回の受講で、今後仕事をしていく上で、考え方の根幹を身に着けることができたように感じております。

①氏名	垣内 寿文 様
②会社名	損害保険会社勤務
③所属／役職	損害サービス部所属
④受講講座	コンプライアンス基礎コース
⑤きっかけ	本コースを受講したきっかけは、金融機関に勤務しており、所属部門においてコンプライアンス研修などを担当していましたが、より正確な知識を持って研修の幅を広げる必要性を感じたからです。
⑥良かった点	本通信講座は、テキストに答えがそのまま記載されているものとは異なり、テキストの内容をきちんと理解していないと問題が解けないことが多々あり、「理解させる」という点に重点が置かれており、しっかり考えられた講座だと思えます。 毎週末にまとまった時間を取り、テキストを何度も繰り返し読み、問題を解く習慣を身に付け、集中して学習しました。 今後も、知識を一過性で終わらせるのではなく、業務に生かす努力をしていきたいと思えます。


①氏名	田口 達也 様
②会社名	アポプラスステーション株式会社
③所属・役職	CSO 事業部 企画業務部 部長
④受講講座	コンプライアンス総合コース
⑤きっかけ	社内で全社横断のコンプライアンス委員会が設立されたのを機に、各事業部のコンプライアンス担当代表者と委員に対して、代表者は総合コース、委員は基礎コースの通信講座に取り組むこととなりました。
⑥よかった点	<p>私自身は、以前勤めていた外資系企業で、本国での SOX 法対応に日本も適合させるためのプロジェクトメンバーとして、コンプライアンスは法令順守以上の広い概念であることを説いていましたが、その当時は法令遵守に留まり、受け入れられませんでした。現在の会社で自部署が、事業部のコンプライアンスに関する教育研修、違反者への指導を担当している部署であったため、本講座への取り組みを部門に周知することで、一定の権威付になりました。私自身にとっては、経営を含む全体像および法的な裏付けを再確認することに非常に有効でした。</p> <p>現在、製薬業界全体としての情報提供活動への規制が見直されており、弊社としても営業部門として必要なコンプライアンスの全体像から業界独自のコード、自主規範を体系化した教育研修の見直しに取り組んでいます。</p> <p>製薬業界だけでなく、最近特に様々な業種、官公庁で不正が発覚しており、経営陣が謝罪会見を行う姿を目にします。特にインターネットの発達は、従来発覚しなかった不正が、一瞬のうちに世界中に開示され、企業の存続を危うくしてしまいます。企業が社会から存在を認められるためには、経営陣以下全社員がどういうマインドで業務に取り組むべきか、それ以前に良き社会人としてあるべきかが問われていると思われまます。自戒も込めて、将来コンプライアンス業務に取り組む実務家は、体系的に学び、より幅広い知識と正しい判断ができる能力を身に着け、「正しいこと」を実践するリーダーであることが求められていると考えています。</p> <p>本講座を全事業部で取組んだことは、企業文化を構築するファーストステップとして有効でした。個人的には、テキスト 3 冊を辞書代わりに手元に置いて活用しており重宝しています。</p>

①氏名	黒崎 雅彦 様
②会社名	旭運輸株式会社
③所属・役職	管理本部 取締役執行役員
④受講講座	コンプライアンス総合コース
⑤きっかけ	<p>当社では、親会社からの要請もあり、10年程前から企業行動規準の制定やコンプライアンス委員会の設置等を行ってきましたが、単に形式だけのものに止まり、実質的には殆ど機能していませんでした。</p> <p>そのような状況下、平成20年より物流事業者として、AEO特定保税承認者等取得に取り組むにあたって、コンプライアンスがより一層求められました。内部統制推進組織を設けるなど、法令遵守に取り組む中、コンプライアンス委員会等の組織を実効性のあるものにすることが出来るか悩んでいたところ、本通信講座「コンプライアンス総合コース」の存在を知り、受講することに致しました。</p>
⑥良かった点	<p>コンプライアンス総合コースは、本来のコンプライアンスの意味や経営トップのリーダーシップの重要性、コンプライアンスマニュアル等の整備やコンプライアンス・オフィサーの役割等だけでなく、企業経営上把握しておくべき関連法令など、社内に於いて内部統制を担当するものが直面する問題点を解決するために必要な知識を幅広く習得するためのツールとして、非常に有効なものであると感じます。</p> <p>本通信講座で習得した知識をもとに、コンプライアンス・オフィサーとして、今後も引き続き社内の内部統制システムを更に機能的なものにするよう取り組んでゆきたいと思えます。</p>

①氏名	匿名
②会社名	株式会社エイエイピー
③所属・役職	—
④受講講座	コンプライアンス基礎コース
⑤きっかけ	<p>現状の広告の仕事を進めていく上で、自分の配慮が至らなかった事でクライアント様をはじめ自社や取引先に多大なご迷惑をお掛けしたことがきっかけです。</p>
⑥良かった点	<p>せまい意味でのコンプライアンスの考え方が一新できた点。今後の仕事を進めていく上でのヒントが数多く見つけられた点。</p> <p>仕事の進め方やクライアントとの確認事項などリスク管理への考え方や事前の準備が今までよりもできている気がしています。</p>

①氏名	匿名
②所属・役職	監査法人 金融部門所属
③受講講座	コンプライアンス総合コース
④きっかけ	<p>私自身はコンプライアンスとは直接的に関連する部門に所属しているわけではなく、また、これまでに法務やコンプライアンスの勉強すらした事が無い人間でした。</p> <p>しかし多くの会社で内部統制システムが導入された今日においても、経営者自らによる内部統制の無視など企業不祥事が絶えないのが実情です。このような状況において、自分自身のみならず周囲にも率先してコンプライアンスマインドの醸成に貢献できる人材になりたいと思った事が、受講のきっかけです。</p>
⑤良かった点	<p>コンプライアンス推進機構の「コンプライアンス総合コース」では、単に断片的な知識を学ぶのではなく、知識を体系化した上で当事者として「ケースを想定して考える力」を求められるものが多いと感じました。この事により法務・コンプライアンスの素人の私にとっては様々な気付きがあり、成長の機会を与えていただいたと思っています。</p>

①氏名	山口 美代子 様
②会社名	株式会社インズパークス
③所属・役職	業務課
④受講講座	コンプライアンス総合コース
⑤きっかけ	<p>保険代理店に勤務しております。</p> <p>この度、上司の勧めにより、通信講座「コンプライアンス総合コース」を受講いたしました。</p>
⑥良かった点	<p>昨今、保険代理店においても、保険会社や金融機関と同レベルの内部管理体制の構築が求められているため、時間を見つけて課題に向かうのは大変ではありましたが、体系的に学ぶことができ良かったです。</p> <p>また、今まではコンプライアンスをただ法令遵守とのみとらえておりましたが、コンプライアンスについて改めて考えるきっかけにもなりました。</p>

①氏名	 青山 夕夏 様
②会社名	青山プロダクション
③所属／役職	代表
④受講講座	コンプライアンス総合コース
⑤きっかけ	—
⑤良かった点	<p>世の中に溢れかえっている通信講座。資格が簡単に取れるということで、私も15以上の資格を通信講座で取得しました。</p> <p>7割近くは「高いお金を払ったのに薄っぺらな内容」だったり、「テキストがぺらぺらでただの金儲けとしか思えない」「更新費が毎年かかり、数万円支払い続けなければ資格者だと名乗れない」という非常に残念な通信講座も多く存在しています。</p> <p>その中で、通信講座「コンプライアンス総合コース」は、基本テキストの厚みもしっかりとあり、3冊あるテキストにはびっしりとコンプライアンスについて記載されており、書籍にも書かれていないような専門的な内容まで網羅されていました。レポートも、簡単に合格できるような作り方ではなく、しっかりとテキストの内容が頭に入っていないと記載できないような工夫がなされており集中してしっかりと学ぶことができましたし、多くのことを覚えられました。コンプライアンスの基礎が身に付いたと思っています。</p> <p>地方に住んでいますので、試験が受けられなくても、通信講座でしっかりと学ぶことができ、納得のいく充実した内容の教材に大満足しています。自分自身が認定コンプライアンス・アドバイザーとして、自信が持てるようになりました。</p>